



**□・BASF**

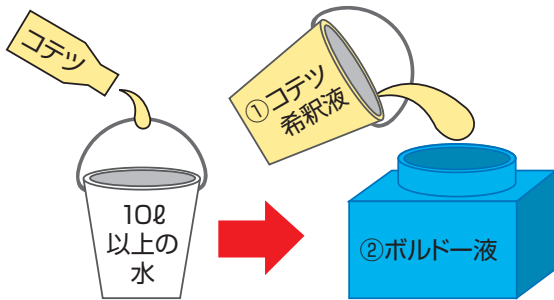
We create chemistry

次世代防除もやっぱりコテツ!

**石灰ボルドー液との混用方法について**

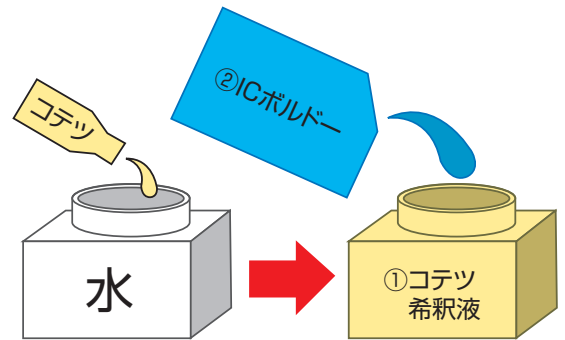
### ボルドー液と混用する場合

- コテツフロアブルを10ℓ以上の水に溶かしてからボルドー液に加用する。



### ICボルドーと混用する場合

- コテツフロアブルを先に溶かしてからICボルドーを混用する。



**注意**

方法を守らないと薬液が固まって散布できません



難防除害虫に効く

**コテツ**<sup>®</sup>フロアブル

殺虫剤分類 13

®=BASF社の登録商標

## ■適用害虫と使用方法（抜粋） \*本剤及びクロルフェナビルを含む農薬の総使用回数制限を示す。

有効成分：クロルフェナビル…10.0%  
 毒性：医薬外用劇物

作物名 (適用場所)	適用害虫名	希釈倍数(倍) または使用量	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	使用回数*	使用方法
りんご	キンモンホング、ナミハダニ、ハマキムシ類、ミノガ類	2000	200~700	収穫前日まで	2回	散布
	ヨモギエダシヤク、リンゴサビダニ	2000~4000				
もも	ミカンキイロアザミウマ	2000~4000		収穫7日前まで		
	モモハモグリガ、カンザワハダニ、ナミハダニ、 モモサビダニ、ウメシロカイガラムシ	2000				
ネクタリン	ミカンキイロアザミウマ	2000~4000		収穫60日前まで		
おうとう	ナミハダニ、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ	2000		収穫14日前まで		
	オウトウショウジョウバエ、ウメシロカイガラムシ	2000~4000				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ	2000~4000		収穫14日前まで		
	ミカンキイロアザミウマ、ブドウサビダニ、ハマキムシ類	2000				
かき	ナミハダニ、カンザワハダニ	2000~4000		収穫前日まで		
	カキノヘタムシガ、イラガ類、アザミウマ類、カキサビダニ	2000~3000				
なし	ナミハダニ、カンザワハダニ、ニセナシサビダニ	2000	収穫14日前まで			
	ヨモギエダシヤク、チャノキイロアザミウマ	2000				
かんきつ	ヨモギエダシヤク、ハスモンヨトウ、 リュウキュウミカンサビダニ、カナタタキ、スグリソウムシ	2000~4000	収穫前日まで			
	アザミウマ類(ネギアザミウマを除く)、 チャノホコリダニ、ミカンサビダニ	2000~6000				
いちじく	ヒラスハナアザミウマ、カンザワハダニ、 ショウジョウバエ類	2000	10	収穫前日まで	2回	常温 煙霧
小粒核果類	オウトウハダニ、ウメシロカイガラムシ、 イラガ類					
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ、コガネムシ類					
マンゴ	チャノキイロアザミウマ					
ゴレンシ	カンザワハダニ					
ブルーベリー	イラガ類、オウトウショウジョウバエ					
みかん (温室・ガラス室等 密閉できる場所)	ミカンキイロアザミウマ					
ぶどう (温室・ガラス室等 密閉できる場所)	チャノキイロアザミウマ					

\*1 使用量 大文字の箇所は2021年12月22日現在、適用拡大事項。

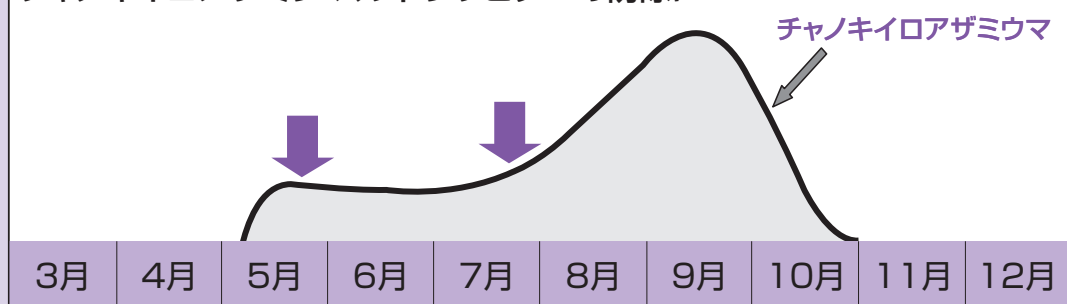
## ■コテツフロアブルの使用例

幅広い害虫種に効果を示すので、同時防除に最適です。

### ぶどうのハマキムシ類に適用拡大(2021.12.22)

#### ぶどう(例)

チャノキイロアザミウマ、ブドウサビダニの防除に!!



(ぶどうの適用害虫)

チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ、ミカンキイロアザミウマ、ブドウサビダニ、ハマキムシ類、ナミハダニ、カンザワハダニ、ハスモンヨトウ、トビイロトラガ、モンキクロノメイガ、ミノガ類、コガネムシ類、ブドウハモグリダニ

●ぶどうの結実期に使用する場合は、果実が小豆大になるまで、又は袋かけ以降に使用してください。(果粉溶脱)

- ★ 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ★ ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ★ 小児の手の届くところには置かないでください。
- ★ 使用後の空容器等は園場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- ★ 防除日誌を記載しましょう。

## △効果・薬害等の注意（抜粋）

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、以下のことに注意してください。
  - ① 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
  - ② できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布してください。
- かき(刀根生など)の着色期の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 周辺の作物にかかると薬害を生じる場合があるので、かからないよう十分注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## △安全使用上の注意

- 医薬外用劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。



水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

※この資料は2021年12月現在の知見に基づき作成したものです。

